

愛知県内で活用できる ロボット活用・生産性向上の支援策

2024.12.1更新



愛知県経済産業局産業振興課
次世代産業室ロボット産業グループ

本資料について

愛知県内で活用可能な、国・自治体・支援機関のロボット活用・生産性向上の支援策をまとめました。

各支援策についてのお問い合わせは、問合せ先までお願いいたします。

目次

- ・愛知県
 - 次世代産業室・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 ページ
 - 高齢福祉課・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 ページ
- ・経済産業省・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 ページ
- ・中小企業基盤整備機構・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8 ページ
- ・あいち産業振興機構・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10 ページ
- ・名古屋産業振興公社・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11 ページ

ロボット未活用領域導入検証補助金



愛知県

ロボットの活用が進まない用途におけるロボット導入を促進するため、導入に先立つ事前検証（業務分析、技術・運用面の課題検証、事業化可能性調査等）に要する費用の一部を補助

- ✓ 活用例：食品製造業における産業用ロボットの活用、介護ロボットの活用
- インフラ点検業務におけるドローンの活用、自動配送ロボットの活用

◆対象者

・「あいちロボット産業クラスター推進協議会」に加入する企業、大学、研究機関、その他団体

◆補助額

・500万円以下（中小企業2/3以内、大企業他1/2以内）

◆スケジュール

※2024年度の公募は終了しました

- ・2024年3/25～6/14 公募期間
- ・7月下旬 交付決定

◆WEBページ

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/robohojo2024.html>

問合せ先

愛知県経済産業局産業部
産業振興課次世代産業室
ロボット産業グループ
TEL：052-954-6352
MAIL：jisedai@pref.aichi.lg.jp

2024年度 新規

ロボット未活用領域 導入検証補助金

ロボット導入の前段階として、事前検証に要する費用を補助します。明らかにされた効果や立証された事業モデルを横展開し、本県のロボット普及を後押しします。

公募期間 3月25日(月)～6月14日(金)

補助率

中小企業者等: 2/3以内
大企業他: 1/2以内

補助
限度額

500万円以下

対象分野

(写真はイメージです)

製造・物流 医療・介護 空モビリティ サービスロボット

対象要件	
補助対象者	「あいちロボット産業クラスター推進協議会」に加入している中小企業者等、大企業、大学、研究機関、その他団体（ロボットの提供側・利用側 ^{※1} のいずれも補助対象者になりますが、双方が参画する体制を組む必要があります。）
対象経費	(1)ロボットの関連機器の購入費用 (2)ロボット本体、関連機器等のレンタル・リース費用 (3)補助事業に従事する者の直接作業時間に対する人件費、旅費 (4)専門家への謝金、旅費 (5)委託及び外注に要する経費 (6)諸経費（消耗品、通信運搬費、施設利用料） ※ロボット本体の購入に係る経費は対象なりません。

※1 提供側：ロボットメーカー、ロボットシステムインテグレーター、ロボットサービス提供者等
利用側：ロボットの提供側が製造・構築・販売する機器又は提供するサービスを利用する者



対象事業

下記の分野のうち、ロボット未活用領域(用途)において実施する事前検証^{※2}（業務分析、業務効率化検証、業務のロボット化・自動化の検討、周辺設備や機器との連携検証、技術面・運用面の課題検証、費用対効果検証、事業化可能性調査など）

分野	未活用領域（例）
製造・物流	食品製造業や窯業における産業用ロボット等の活用や、ピッキング・搬送ロボットの活用による物流の自動化
医療・介護	介護ロボット(移動・移乗・排泄支援、見守り、コミュニケーション)やリハビリ支援ロボットの活用
空モビリティ活用	荷物搬送やインフラ点検業務におけるドローンの活用
業務用サービス ロボット活用	自動配送ロボット、案内・コミュニケーション・警備ロボットの活用

※2 事前検証の例
・ユーザーへの導入の前段階として必要な技術検証、周辺設備との連携、固有の課題検証
・介護施設等の協力の下、機器を試用し、メーカーや大学等により、業務効率や施設入居者への効果を検証
・具体的な地域課題やニーズに基づいた一定期間のトライアル利用による技術面・運用面の課題検証

応募書類	詳しくはこちら！ 応募書類の様式もWebページからダウンロードできます。 https://www.pref.aichi.jp/press-release/robohojo2024.html	
応募書類 提出先	あいち電子申請・届出システムから提出してください。 https://www.shinsei.e-aichi.jp/pref-aichi-u/offer/offerlist_detail?tempSeq=92380	
公募説明 (説明動画の配信)	説明動画の視聴を希望する方は、以下により、電子メールで申し込みください。 ・メールの見出し:「ロボット未活用領域導入検証補助金」 ・本文中に次の1～3を記載 1. 貴社・団体名 2. 視聴者氏名 3. 連絡先(電話番号、メールアドレス(視聴用URLを送付するアドレス)) ・申込先: 下記[問合せ先]のメールアドレス	
あいちロボット 産業クラスター 推進協議会	下記Webページから加入申込みいただけます。 https://www.pref.aichi.jp/sangyoshinko/jisedai/robot/entry.html	



[問合せ先] 愛知県経済産業局産業部産業振興課次世代産業室 ロボット産業グループ
電話: 052-954-6352(ダイヤルイン)
E-mail: robotshien@pref.aichi.lg.jp

産業用ロボットを用いた自動化に精通したアドバイザーが、中小企業や支援機関の相談に対して、ロボット導入検討へのアドバイス、ロボットSIerとのマッチング支援等を実施

✓ 活用例：中小企業：ロボット導入検討の進め方のアドバイス・課題解決のためのマッチング支援
支援機関：ロボット導入に関する相談への助言・企業との面談や訪問への同席

◆対象者

・愛知県内に事業所のある企業、支援機関・金融機関等の方

◆受付期間

・平日9:00～17:00
2025年3月中旬まで

◆申込フォーム

<https://jarsia.jp/aichi-soudan/moushikomi.php>



◆詳細WEBページ

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/sanrobosoudan-kenshu.html>

問合せ先

愛知県経済産業局産業部
産業振興課次世代産業室
ロボット産業グループ
TEL：052-954-6352
MAIL：jisedai@pref.aichi.lg.jp

令和6年度愛知県産業用ロボット活用支援事業

産業用ロボットに関してわからないこと、困りごとをそのままにいませんか？

産業用ロボット活用相談窓口

何でもご相談ください！ **無料**

企業や支援機関の皆様が抱える「自動化」「省人化」の悩み・疑問に産業用ロボットを用いた自動化のプロがアドバイスをいたします。お気軽にご相談下さい。

こんな方が対象です **中小企業の皆様** **支援機関の皆様**

<p>中小企業の経営者</p> <p>人手不足が深刻で、ロボットを導入したいが何から手をつけるべきか</p>	<p>ロボット導入担当者</p> <p>ロボットを導入することとなったが、何に気を付けるべきか知っておきたい</p>	<p>支援機関アドバイザー 金融機関担当者</p> <p>お客様からロボット導入の相談を受けたので、ロボットの専門家を紹介したい</p>
---	---	---

ロボット導入をお考えの企業だけでなく、ロボット導入の相談を受けた支援機関・金融機関の方も対象です

ロボットを活用することで様々な課題を解決できます

<p>生産性・品質の向上につながります</p>	<p>省人化が可能になります</p>	<p>重労働からの解放で幅広い人材が確保できます</p>
--------------------------------	---------------------------	-------------------------------------

愛知県産業用ロボット活用相談窓口アドバイザー

永井 伸幸

- ヒューマテックジャパン株式会社代表取締役社長
- 日本ロボットシステムインテグレーション協会インストラクター代表

1998年ユニー株式会社（現株式会社バイナス）入社、2008年株式会社バイナス法人化に伴い転籍し、同社取締役技術部長、2024年ヒューマテックジャパン株式会社設立。職業訓練指導員、産業用ロボット特別教育インストラクター。経済産業省「ロボットシステムインテグレータのスキル認定」執筆、「ロボット導入事前チェックシート」作成。また、ボリテックセンターにおける在職者訓練講座「ロボットによるシステム設計技術（ロボットシステム導入編）」講師など講師経験多数。

中小企業の皆様へのサービス紹介 相談者の検討段階に応じたアドバイスや支援を実施します。

<p>1 ロボット導入検討の進め方のアドバイス</p> <p>ロボット導入は通常の機械導入と異なり成功させるためのいくつかのポイントが存在します。ロボット導入を成功させるための検討手順をアドバイスします。</p>	<p>2 課題解決のためのマッチング支援</p> <p>相談内容に応じ、ロボット構築企業（ロボットSIer）をはじめ、ロボット導入の検討段階に応じて相応しい企業・専門家とのマッチングを行います。</p>	<p>3 活用可能な行政施策の紹介</p> <p>相談内容に応じ、ロボット導入やDXなどの国や県の補助金やセミナーなどの支援策をご紹介します。</p>
---	--	--

支援機関の皆様へのサービス紹介

<p>1 ロボット導入に関する相談への助言</p> <p>ロボット導入に関する相談に関して、経営的、技術的両面からのアドバイスをいたします。</p>	<p>2 企業との面談や訪問への同席</p> <p>必要に応じ、相談企業との面談や訪問へ同席し、企業の現場確認や業務改善のアドバイスを実施します。</p>	<p>3 相談内容によりSIer企業の紹介</p> <p>ロボット導入段階まで至っている相談に関しては、適切なSIer企業をご紹介します。</p>
---	--	--

ご利用の流れ



ご利用条件

- 愛知県内に事業所のある企業、支援機関・金融機関等の方はどなたでも無料でご利用いただけます。
- 相談力の向上のため、窓口ご利用の皆様にはフォローアップ調査へのご協力をお願いします。

お申込方法

下記の相談申込ページよりお申込みください。

<https://jarsia.jp/aichi-soudan/moushikomi.php>

相談窓口の最新情報は下記特設サイトをご覧ください。

<https://jarsia.jp/aichi-soudan/>

お問合せ先

愛知県産業用ロボット活用相談窓口 **TEL** 高本・渡辺 **E** aichi-soudan@jarsia.jp **T** 03-6453-0131

S 一般社団法人日本ロボットシステムインテグレーション協会内 **受付時間** 平日 9:00～17:00 (2024年3月中旬まで、年末年始と祝日を除く)

中小企業における産業用ロボットの活用を支援するため、ロボットを効果的に活用している中小企業経営者の講演や活用現場の見学、ロボット導入成功のポイントの講義等を実施

✓実施コース：経営者コース（2024年8月22日開催）

実務担当者コース（入門編）（2024年8月と11月に計5回開催）

実務担当者コース（中級編）（2025年2月開催予定）

◆対象者

・愛知県内に事業所のある企業の方

◆費用

・無料

◆詳細WEBページ

<https://www.jarsia.jp/robot-aichi/>

問合せ先

愛知県経済産業局産業部
産業振興課次世代産業室
ロボット産業グループ

TEL：052-954-6352

MAIL：jisedai@pref.aichi.lg.jp

令和6年度 愛知県産業用ロボット活用支援事業

中小企業向け 産業用ロボット導入支援研修

参加者募集 無料

経営目線で見ると ロボット活用研修会

ロボット導入の費用対効果は？
ロボット導入はどこから始めれば良い？
実際にロボットが活躍している現場を見学し、
ロボット導入を成功させている経営者に学びます

中小企業の経営者様向けに研修会を実施します。
実際にロボットを活用されている中小企業を訪問し、工場見学を行います。
また、訪問先の経営者にロボット導入の経緯やポイントを実際の経験を基に解説していただきます。

対象者	日程
産業用ロボットの導入・活用について検討を始めた、あるいはすでにロボットを導入している愛知県内の中小企業の経営者やそれに準ずる方。	2024年8月22日(木) 14:00-17:00
場所	
株式会社 山田製作所 名鉄津島線 木田駅より徒歩約8分	

上記の他にも開催を調整中です。最新情報はHPをご覧ください。
<https://jarsia.jp/robot-aichi/>

研修会の詳細や申込方法などは裏面をご覧ください。

主催 愛知県 企画・運営 一般社団法人 日本ロボットシステムインテグレート協会

令和6年度 愛知県産業用ロボット活用支援事業

中小企業向け 産業用ロボット導入支援研修

参加者募集 無料

ロボット活用事例から学ぶ ロボット導入のポイント

こんなお悩み抱えていませんか？
ロボット導入で何が変わるの？
ロボット導入って何から始めたらいいの？

中小企業の実務担当者様向けに研修会を実施します。
具体的な事例を交えながら、ロボット導入に向けた準備・手順を学ぶことができます。

対象者	日程
産業用ロボットの導入の検討を始めた、または検討予定のある愛知県内の中小企業の生産技術や担当者等	2024年8月26日(月) 13:00-17:00
場所	
産業用ロボット導入を検討している中小企業へのサポートやアドバイスを愛知県内の支援機関、金融機関の担当者等	ウイंकあいち18階セミナールーム 名古屋市中村区名駅4-4-38

上記の他にも開催を調整中です。最新情報はHPをご覧ください。
<https://jarsia.jp/robot-aichi/>

研修会の詳細や申込方法などは裏面をご覧ください。

主催 愛知県 企画・運営 一般社団法人 日本ロボットシステムインテグレート協会

国立長寿医療研究センターと連携し、サービスロボットの開発・実用化を目指すモノづくり企業に対する相談対応や介護施設等とのマッチング支援を行うとともに、施設関係者の見学を実施
 ✓ 支援内容：県内企業のロボット展示（16機種）、介護施設への出張デモ、介護施設や企業のマッチング支援、企業のロボット開発に関する相談支援

◆利用方法

・事前予約制

下記問合せ先の電話又はメールで相談内容について連絡

◆設置場所

・大府市森岡町7-430（国立長寿医療研究センター内）

◆WEBページ

https://www.pref.aichi.jp/sangyos_hinko/jisedai/robot/contact.html

問合せ先

あいちサービスロボット実用化支援センター

TEL：0562-47-2020

MAIL：

roboshien@pref.aichi.lg.jp

あいちサービスロボット実用化支援センター

愛知県は、国立長寿医療研究センター内に「あいちサービスロボット実用化支援センター」を設置し、医療や介護をはじめとするサービスロボットの実用化や普及の促進に取り組んでいます。

1 サービスロボットの開発・実用化を目指すモノづくり企業に対し、課題解決のための相談対応や医療・介護施設や企業・大学とのマッチング支援を行っています。

2 医療・介護等の関係者にサービスロボットについて知っていただくため、展示コーナーの見学を受け付けています。

共同開発企業を紹介してほしい

県や市の施策について知りたい

ロボット導入の補助金について知りたい

サービスロボットを試してみたい

相談・マッチング支援
(事前予約制)

サービスロボットの国際安全規格やリスクアセスメントについて知りたい

開発したサービスロボットを医療機関や介護施設で試したい、意見を聞きたい

ご希望や見学のご希望など、まずはお気軽にご連絡ください。

内容に応じて、専門家を紹介、派遣することも可能です！

事前予約制です。お気軽にご相談ください。まずはお電話又はメールでご連絡ください。見学のご予約も承ります。

電話・FAX 0562-47-2020 平日 9:00~12:00 / 13:00~17:00
メール robotshien@pref.aichi.lg.jp

STEP1 相談までの流れ

STEP2 センターに連絡(電話 or メール)

STEP3 相談シートをセンターに送付

STEP4 相談内容の確認

STEP5 日程調整・相談実施

ロボット展示

ロボットの説明やデモンストレーション(一部有料あり)を行っています。

- 最新の展示情報や展示ロボットの必要は、当センターのWebページをご確認ください。
- サービスロボットの展示をご希望の方は、当センターのWebページをご確認ください。

あいちサービスロボット実用化支援センター (愛知県経済産業局 産業部 産業部課 次世代産業室分室)

〒474-8511 愛知県大府市森岡町7-430 (国立長寿医療研究センター内)

TEL/FAX 0562-47-2020 (ダイヤルイン)

URL https://www.pref.aichi.jp/sangyos_hinko/jisedai/robot/contact.html

展示ロボット一覧 (2022年9月現在)

分類	機器名称	開発企業
移動支援	パワアシストスーツ J-PAS fleairy	(株) ジェイテクト
	移乗サポートロボット Hug L1-01	(株) FUJII
	床走行式介護リフト Y6 Li-PINK	(株) モリトー
移動支援	免荷式リフト POPO	(株) モリトー
	自動走行歩行車 ロボスニール OVER	リョーエイ (株)
排泄支援	自動探尿器 Behome スマート集尿器	朝日産業 (株)
	水洗式ポータブルトイレ 流せるポータくん 3号	(株) アム
	水洗式ポータブルトイレ キューレット	アロン化成 (株)
	Aiserv® 排泄検知システム	新井工業 (株)
見守り支援	雇床センサー「サポート」機能付ベッド	シーホネックス (株)
	睡眠見守りシステム みまもりーふ	テクノホライゾン (株)
	高齢者見守りシステム 見守りライブ	トーテックアメニティ (株)
	自動検返り支援ベッド FB-640A	フランスベッド (株)
コミュニケーション	リアルタイム見守りセンサー M-station	(株) メイク
	癒やしロボット スマイビS	(株) 東郷製作所
	介護ふれあいロボットシステム HIMBOT	(株) ヒミカ

医療・介護施設の皆様

出張デモンストレーション
(一部有料あり)も可能です！

企業の皆様

展示ロボットを募集
しています！

最新の展示情報や
展示募集案内はこちら

アクセス

JR名古屋駅から

- JR 東海線(上り)「大府」下車

JR 大府駅(西口)から

- 知多バス(大府(緑環)線)「長寿医療研究センター」下車
- タクシー 長寿医療研究センターまで約 8分

JR 武豊線 緒川駅(東口)から

- 東浦町運行バス(上長寿線)「長寿医療研究センター」下車
- タクシー 長寿医療研究センターまで約 10分

介護・リハビリ支援ロボットの開発側と利用側の双方に対応する窓口を設置。
介護やリハビリテーション医療に関する高い専門性と豊富なノウハウを有する藤田医科大学の専任のコーディネータより、効果的な支援を実施。

◆受付期間

・平日9:30～17:30
2025年3月中旬まで

◆利用方法

メール申込後、コーディネータとの面談・ヒアリングを設定

MAIL :

cent-rsh@fujita-hu.ac.jp

◆WEBページ

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/kaigorihabimadoguti2024.html>

問合せ先

愛知県経済産業局産業部
産業振興課次世代産業室
ロボット産業グループ
TEL : 052-954-6352
MAIL : jisedai@pref.aichi.lg.jp

藤田医科大学ロボティクススマートホーム・活動支援機器研究実証センター
Research Center for Robotic Smart Home & Activity Assistive Technology

介護・リハビリ支援ロボット相談窓口のご案内

国内人口の高齢化に伴い、健康長寿の延伸や介護を支援する各種機器への需要が益々高まっています。藤田医科大学では、愛知県からの委託により、「介護・リハビリ支援ロボット相談窓口」を開設し、開発企業および導入を検討する介護・医療施設等に対してロボット活用に繋がる支援を行います。

▲詳細はこちら

窓口受付時間
平日の午前9時30分から午後5時30分まで（2025年3月中旬まで、年末年始と祝日除く）

窓口設置場所
藤田医科大学ロボティクススマートホーム・活動支援機器研究実証センター（愛知県豊明市岩掛町田楽ケ窪1-98 藤田医科大学病院内）

相談・支援対応者

藤田医科大学
教授 大高 洋平（機器コンセプト評価等）
教授 田辺 茂雄（技術アドバイス等）
教授 平野 哲（臨床アドバイス等）
准教授 小山総市朗（現場試用支援等）
講師 清野 溪（マッチング市場性評価等）
その他 藤田医科大学リハビリテーション部門の理学療法士・作業療法士など

相談料
無料

相談方法
電子メールで問合せ受付後、コーディネータとの面談・ヒアリングを設定します。
（電子メールアドレス）cent-rsh@fujita-hu.ac.jp （電話番号）0562-93-9720

学校法人藤田学園 藤田医科大学  藤田医科大学リハビリテーション部門

藤田医科大学ロボティクススマートホーム・活動支援機器研究実証センター
Research Center for Robotic Smart Home & Activity Assistive Technology

相談内容の例

- 介護・医療現場等の解決すべき課題、ニーズについての情報提供
- 関連機器の市場動向、既存品や競合製品についての情報提供
- 企業の機器開発コンセプトや試作品に対するアドバイス
- 開発機器の試験や実用化に関するアドバイス
- 開発中又は製品化されている機器および企業シーズについての情報提供
- 機器の導入で期待される効果に関する情報提供
- 機器の導入及び現場での活用に関するアドバイス

支援内容の例

- 開発企業と機器導入・活用の意向がある介護・医療施設等のマッチング支援
- 開発企業と機器開発・改良に繋がるシーズを有する他企業のマッチング支援
- 実際の現場での機器試用並びに運用支援
- 現場導入・活用に向けた課題解決支援

マッチング

他企業（機器開発・改良に繋がるシーズを有する企業） ↔ 藤田医科大学病院 リハビリ部門
藤田医科大学 RSH・AATセンター コーディネーター
開発企業（愛知県内企業、あいちロボット産業クラスター推進協議会会員企業・団体等） ↔ 介護・医療施設等（介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、病院 など）

現場試用 課題解決支援

介護・医療現場での介護・リハビリ支援ロボットの活用促進

これまでの本学と企業様との共同開発



介護現場における生産性向上の取組を推進するため、生産性向上の取組に関する各種相談や支援を行うワンストップ型の総合相談窓口を開設

- ✓ 支援内容：各種相談への対応（相談窓口の設置）、生産性向上に向けた研修会の開催、介護ロボット・ICT機器の展示会の開催、介護ロボット・ICT機器の試用貸出等

◆相談方法・受付時間

- ・下記問合せ先へまずはお電話ください。
- ・午前9時から午後5時まで（土日祝・年末年始は除く）

◆対象者

- ・愛知県内の介護サービス事業所等

◆設置場所

- ・名古屋市中村区名駅南2-14-19 住友生命名古屋ビル1 4階（介護労働安定センター愛知支部内）

◆WEBページ

<https://www.kaigo-center.or.jp/shibu/aichi/contents/2.html>

問合せ先

あいち介護生産性向上総合相談センター
TEL：052-526-8609
FAX：052-565-9272

あいち介護生産性向上総合相談センター
2024.6/3 OPEN

相談対応
生産性向上・業務改善に関する各種相談に対応いたします。

研修会
業務改善やそのための支援ツールとなる介護ロボット・ICT機器の活用方法についての研修を行います。

機器展示会
生産性向上・業務改善に活用できる代表的な介護ロボットの展示会を開催いたします。

試用貸出
介護ロボットやICT機器の導入に向けた、お問い合わせに応じて事前研修や実用研修の貸出が可能です。

介護の価値を高めることについて考えてみましょう。

介護業界の重要なテーマである「介護サービスの質の維持・向上」「人材の定着・確保」に向けた生産性の向上・業務改善等の諸課題への幅広い支援をさせていただきます。是非ともご利用ください。

あいち介護生産性向上総合相談センターのホームページでは、これらの内容に加え、各種情報を取りまとめております。
<https://www.kaigo-center.or.jp/shibu/aichi/contents/2.html>

TEL: 052-526-8609 FAX: 052-565-9272

あいち介護生産性向上総合相談センター（ワンストップ窓口）の業務内容

各種相談への対応
生産性向上・業務改善に関する各種相談に対応させていただきます。必要に応じて専門家・関係機関を交えた対応をいたします。

受付期間 2024.6/3(月)～2025.3/31(月)
受付時間 午前9時から午後5時まで（土日祝・年末年始は除く）

相談料 無料 **受付先** TEL.052-526-8609
(052-526-8601 直通・受付専用ダイヤル)

まずはお電話ください

生産性向上に向けた研修会
介護ロボット・ICT機器の展示会

業務改善ならびにそのための支援ツールとなる介護ロボット・ICT機器の活用方法についての研修です。あわせて代表的な介護ロボットを展示いたします。

介護ロボット・ICT機器の試用貸出
介護ロボット・ICT機器の導入には、使い勝手や耐用について事前に体験したい場合ご利用いただけます。

移動支援機器 **見守りセンサー** **コミュニケーションロボット** **アシストスーツ**

介護ロボットたちを無料でお試しできますよ！

受付期間 2024.6/3(月)～2025.2/28(金)
受付時間 午前9時から午後5時まで（土日祝・年末年始は除く）

相談料 無料 **受付先** TEL.052-526-8609
(052-526-8601 直通・受付専用ダイヤル)

まずはお電話ください

あいち介護生産性向上総合相談センターのホームページに、貸出機器ならびに貸出ルール等も記載いたします。
<https://www.kaigo-center.or.jp/shibu/aichi/contents/2.html>

TEL: 052-526-8609 FAX: 052-565-9272

中小企業省力化投資補助金



経済産業省

- ・人手不足に悩む中小企業等に対して、人手不足解消に効果がある汎用製品を導入するための経費の一部を補助し、生産性向上等を図るとともに、賃上げにつなげる
- ・カタログ型であり、予め国の審査により相見積等の負担を無くし、簡易で迅速に補助金を交付
- ✓ 活用例：製造業における無人搬送車、飲食サービス業における券売機の活用

◆対象者

・対象製品リストから導入し、「労働生産性 年平均成長率3%向上」を目指す事業計画に取り組むもの

◆補助額

・1500万円以下（補助率1/2）
※従業員数・賃上げ条件達成可否により変動

◆スケジュール

・2024年6月25日～ 公募開始
2024年8月9日～ 随時受付
※複数回の応募・交付申請可能
(補助額合計が補助上限額まで)

◆WEBページ

<https://shoryokuka.smrj.go.jp/>



中小企業の人手不足解消に効果のある「省力化製品」を導入するための補助金

中小企業 省力化投資補助金 1/2



中小企業省力化投資補助金とは、

人手不足解消に効果があるロボットやIoTなどの製品を導入するための経費を国が補助することにより、簡易で即効性がある中小企業の省力化投資を促進し、売上拡大や生産性向上を図るとともに賃上げにつなげることを目的とした補助金です。

- 対象製品のリスト(カタログ)に登録された省力化製品から、自社の課題に合わせて製品を選択できます!
- 「販売事業者」が製品の導入を支援! 申請・手続もサポートします。
- 補助率は1/2! 補助上限額は従業員数ごとに異なります。



Be a Great Small
中小機構

● 補助対象となる事業

人手不足の中小企業などが、省力化製品を対象製品のリスト(カタログ)から選んで導入し、販売事業者と共同で「労働生産性 年平均成長率3%向上」を目指す事業計画*に取り組みむものを対象とします。

申請時に全ての従業員の賃金が最低賃金を超えていること、補助金の重複に該当しないことなどの要件**を満たす必要があります。また、補助金の交付が決定された場合でも事業実績報告の審査によって補助額の減額となる場合があります。

※1. 公募要領「一」補助対象事業の条件(5)参照。
※2. 公募要領「二」補助対象事業者の条件(5)参照。

● 補助対象製品のカテゴリ

- ▶ 清掃ロボット
- ▶ 自動倉庫
- ▶ 検出・仕分システム
- ▶ 無人搬送車 (AGV-AMR)
- ▶ スチームコンベクションオーブン
- ▶ 券売機
- ▶ 自動チェックイン機
- ▶ 自動精算機
- ▶ タレット型給油許可システム
- ▶ オートラベラー
- ▶ 飲料補充ロボット
- ▶ デジタル紙面色校正装置
- ▶ 測量機
- ▶ 丁合機
- ▶ 印刷用紙高機能装置
- ▶ 印刷用インク自動計量装置
- ▶ 近赤外線センサー
- ▶ 近赤外線センサー式プラスチック材質識別機
- ▶ デジタル加飾機
- ▶ 印刷面検査装置
- ▶ 印刷用自動バリ取り装置
- ▶ 自動調色システム
- ▶ 蛍光X線膜厚測定器
- ▶ 自動搬送機 など

どんどん拡大中!

*一部の省力化製品については、置換購入であっても交付申請可能です。

● 補助率と補助上限額

従業員数	補助率	補助上限額	補助事業実施期間に一定以上の賃上げを達成した場合
5名以下	1/2	200万円	300万円に引き上げ
6~20名		500万円	750万円に引き上げ
21名以上		1,000万円	1,500万円に引き上げ

※申請における補助額の合計が補助上限額に達するまでは、複数回の応募・交付申請が可能です。

補助上限額の引き上げを適用する場合、事業終了時に①給与支給総額+6%以上かつ、②事業場内最低賃金+45円以上とする計画を策定し申請する必要があります。

● 申請から事業完了までの流れ



※1. 申請にはgBizID(アカウント)の取得が必要です。取得には一定期間を要しますので、お早めにお手続ください。※2. 中小企業のみならず、販売事業者から「一」【目標設定(ベンチマーク)】していただいた、業界平均以上の増産が期待できます。※3. 導入した製品の生産性向上効果、事業場内最低賃金引き上げ、賃上げ実績確認などを含む内容の報告が必要です。※4. 人員調整・精算を行っている場合は、交付決定の段階で労務手帳が必要です。※5. 補填されない場合は、交付決定の段階で返還する必要があります。

本補助金の詳細や対象製品のリスト(カタログ)、公募要領などはこちらから
中小企業省力化投資補助事業ホームページ <https://shoryokuka.smrj.go.jp/>

お問い合わせは、本補助事業コールセンターまで

※お電話の際は、お名前・お電話番号・お問い合わせの件名をご確認ください。

ナビダイヤル 0570-099-660

IP電話などからのお問い合わせ 03-4335-7595

● 受付時間：9:30~17:30/月曜~金曜(土・日・祝日除く) ※遠隔地は異なります。お申し込みは、お早めに行ってください。

省力化製品に関わる
工業系・製造事業者・販売事業者のみならず
カタログ登録
サポートセンター
03-6746-1530
でご相談受付中!

全都道府県に、インフォメーション窓口を設けています。詳しくは上記ホームページをご確認ください。

問合せ先

愛知県中小企業団体中央会

中小企業省力化投資補助事業コールセンター
TEL：0570-099-660
カタログ登録サポートセンター
TEL：0570-099-660

中小機構の専門家が企業を訪問し、専門的・客観的視点による分析をとおり、生産工程の課題の把握や解決に向けた対応策をご提案する**全3回の無料診断**。

活用例：業務フローの見直し、ロボット導入の事前調査、IoT活用の効果確認等
「生産性の拡大」「業務の効率化」「生産工程の見える化」などのきっかけづくりとしてもご利用いただけます。

◆対象者

・ロボット・IoTの導入により、生産性を向上させたい中小企業・小規模事業者

◆診断内容

- ・「作業」と「情報」の視点から、専門家が生産工程の現状を分析
- ・課題の整理・可視化を行い、ロボット（自動化）・IoTの活用可能性をご提案

◆WEBページ

<https://www.smrj.go.jp/sme/digital/smart/>

問合せ先

独立行政法人
 中小企業基盤整備機構
 中部本部 企業支援部 企業支援課
 TEL：052-220-0516

※2024年度の公募は一時中止中



事前相談申込



【管理者・職員が担当】

- ・オンライン
- ・事業説明・ヒアリング
- ・課題に応じた専門家を選定



面談①



【現地調査】

- ・専門家、職員等が現地訪問
- ・経営者や現場責任者にヒアリング
- ・実際の作業内容や工程、帳票等を確認し現状分析



面談②



【関係者打合せ】

- ・オンライン又は現地訪問
- ・現状分析をもとに、問題点／課題を整理し可視化
- ・ロボット(自動化)・IoT導入等による解決策の検討



面談③



【診断報告会・提案】

- ・オンライン又は現地訪問
- ・生産工程の課題について、ロボット(自動化)・IoT・デジタル技術導入による解決策の提案

経営課題の解決に主体的に取り組む中小企業を対象に、豊富な経験と実績を持つ専門家を一定期間派遣し、アドバイスを実施します（有料・審査あり）。

活用例 ロボット導入に向けた、生産現場の改善、工程の見直し、生産管理方法の見直し等
 （上記以外でも、戦略・事業計画策定、マーケティング・営業の仕組み見直し等にもご活用いただけます）

◆対象者

・上記のような経営課題の解決を図りたい中小企業

◆期間・費用等

・期間・回数：4ヵ月～10ヵ月（1～2回/月）
 ・費用：17,500円/回

◆ご利用までの流れ

・右図をご参照ください。下記「問合せ先」にご連絡ください。
 ・専門家や職員が経営者の方等とご面談を行い、課題の深堀や今後の進め方等について複数回打合わせを行います。（途中、機構内審査があります。）

◆留意点

・本事業は、経営課題に取り組むプロジェクトチームのサポートを行うものです。研修の実施、販売先等の斡旋・紹介や契約交渉・事務作業等の実務代行を行うものではありません。

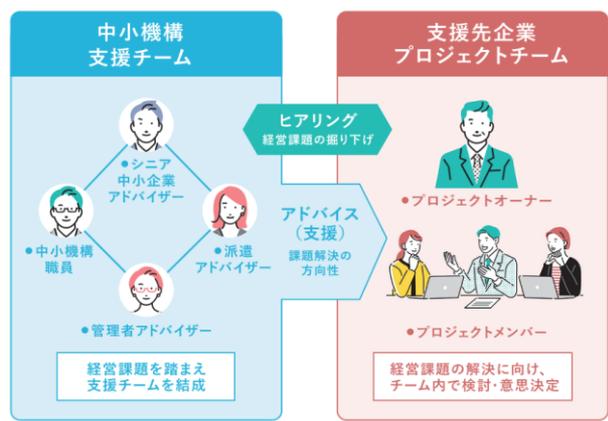
◆WEBページ

<https://www.smrj.go.jp/sme/consulting/hands-on/>

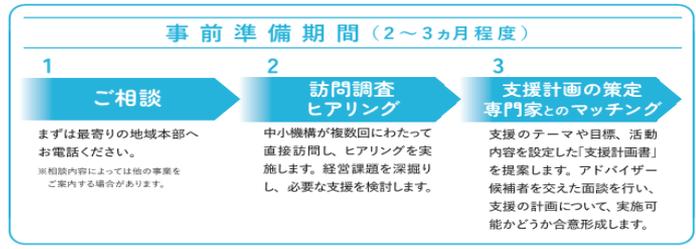
問合せ先

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
 中部本部 企業支援部 企業支援課
 TEL：052-220-0516

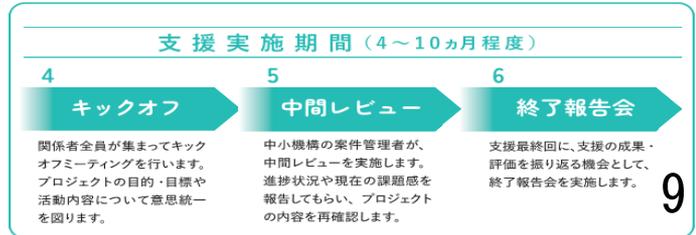
ハンズオン支援体制図



※ご利用には審査があります



ハンズオン支援の流れ



あいち産業振興機構は、愛知県知事指定の中小企業支援センターとして、経営の支援、人材確保の支援、取引先開拓等の支援、デジタル化・DXの支援、IT活用支援・情報提供等、県内中小企業の皆様への多様なサポートを行っています。

無料経営相談窓口（エキスパートあいち） （経営、業務管理・生産管理、技術・CN等）

- 対象者：県内事業者
- 費用：無料（出張相談可）
- 支援例：DX簡易診断、デジタル人材育成、販路開拓支援
- ホームページ：<https://www.aibsc.jp/support/257/>
- 問合せ先：052-715-3070 経営アドバイスG



あいち産業DX推進コンソーシアム （セミナー、マッチング、ワーキング、情報発信等）

- 組織体制：経済団体、金融機関、大学、行政機関といった支援機関のほか、IT企業や製造業等県内中小企業
- 活動内容：セミナー、マッチングイベント、ワーキング等の開催、情報発信等
- ホームページ：<https://www.aibsc.jp/support/15511/>
- 問合せ先：052-715-3063 情報企画G



製造業に係る取引先開拓 （輸送機器、工作・産業機械、鉄鋼等）

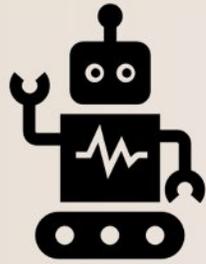
- 対象者：（発注）全国の製造業（受注）県内中小製造業
- 費用：無料
- 支援内容：商談会の開催、取引先の紹介・あっせん
- ホームページ：<https://www.aibsc.jp/support/698/>
- 問合せ先：052-715-3068 取引振興・設備G



愛知県 プロフェッショナル人材拠点 （ロボット産業進出に係る人材確保支援）

- 支援内容：進出と活用導入に係る人材確保支援
- 採用プロ人材例：製造プロセスIT化（印刷事業）、ロボットの導入などの自動化・効率化（設備製造事業等）
- ホームページ：<https://www.aichi-projinzai.jp/>
- 問合せ先：052-715-3070 経営アドバイスG





産業用ロボットの教示・検査等に従事している方を対象に、労働安全衛生法第59条・同規則第36条に義務付けられた安全教育です。講習会の修了後、特別教育 修了通知書および修了証を交付します。

◆対象者

- ・産業用ロボットを導入される企業様
- ・ロボットSI検定受検予定者様など

◆実施日

- ・年7回 予定
(5月、7月、9月、11月、12月、1月、3月)

◆WEBページ

https://www.nipc.or.jp/kougyou/p_training/index.html



産業用ロボット特別教育講習会

年間7回開催 (学科2日+実技1日) ◆産業用ロボットの教示・検査に係る業務に従事する労働者全員
(5月・7月・9月・11月・12月・1月・3月) に対して、事業者は労働安全衛生法第59条第3項に基づき、特別教育を行うことが法令で義務づけられています。

産業用ロボットを導入される企業様、新人・新任社員様向けの教育として、ロボットSI検定を受検予定の方など、ロボットを使用される方は、是非、ご受講をご検討ください。

◆学科

会場:名古屋市工業研究所 会議室

◆実技 会場及び使用するロボット機種(予定)

- ・パナソニックコネク株式会社
パナソニックロボットG3 シリーズ(5 月期)
パナソニックロボットG4 シリーズ(1 月期)
- ・三菱電機株式会社 名古屋製作所
三菱電機ロボットMELFA RV-2F-Q、MELFA RV-3SQ
(7、9、11、3 月期)
- ・株式会社TECHNOREACH(テクノリーチ)
ファナックロボットLRmate200iD_7L、LRmate200iB
(12 月期)

※修了通知書・修了証は、実技講習を受講終了後、交付いたします。

▶受講料

(公財)名古屋産業振興公社 賛助員企業 34,980円(税込、テキスト含)
一般企業 40,480円(税込、テキスト含)

※テキストは、「産業用ロボットの安全必携」中央労働災害防止協会編(第4版)」を使用予定です。

講習内容

◆学科

1日目 9:10~16:45
・産業用ロボットに関する知識
・産業用ロボットの教示等の作業に関する知識

2日目 9:10~16:50
・産業用ロボットの教示等の作業に関する知識
・産業用ロボットの検査等の作業に関する知識
・労働安全衛生法、施行令等の関係法令

◆実技 9:30~16:30

・産業用ロボットの操作の方法
・産業用ロボットの教示等の作業の方法
・産業用ロボットの検査等の作業の方法

主催:(公財)名古屋産業振興公社

共催:名古屋商工会議所

協賛:

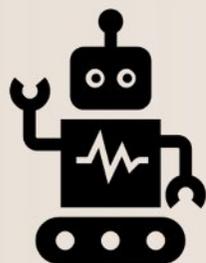
中部金型技術振興会 (一社)愛知県溶接協会
(一社)日本ロボット工業会 中部塗装技術研究会
中部歯車懇話会 中部溶接振興会
中部エレクトロニクス振興会
(一社)日本ロボットシステムインテグレーション協会

問合せ先

(公財)名古屋産業振興公社 ものづくり人材育成課

TEL:(052)654-1653

MAIL:kenshu@nipc.or.jp



工業技術に関する研修や講座を名古屋市工業研究所、業界団体等と連携して開催。主に中小企業におけるものづくり人材の育成、技術・技能の継承を支援し、向上を図ります。

◆対象者

・主に中小企業にお勤めのものづくり企業様

◆WEBページ

令和6年度 研修ガイド

https://www.nipc.or.jp/kougyou/pdf/r6_guide.pdf



■技術者向けものづくり人材の育成を行っています！「講義と実習」を重視した全10コース！

協力：名古屋市工業研究所

◆メカトロ技術研修

◆CAE技術研修



「電子回路・中級電子回路・設計・表面機能化・高分子材料・金属材料・化学分析・加工」技術研修も行っています。



■熟練技能者の指導により資格対策講座等を行っています！技能の継承を支援します！

◆3D CAD講座 協力：名古屋市立工業高等学校

◇鉄工(構造物鉄工作業)技能士受検対策講座 協力：(一社)愛知県溶接協会

◇プラスチック射出成形不良対策講座 協力：(一社)中部日本プラスチック製品工業協会 愛知県プラスチック成形工業組合も行っていきます。



■ものづくり現場に必要な技術に関する研修等を行っています！

▶周辺視目視検査法入門 <<New>>

▶機械系技術者のための「エレクトロニクスの知識」研修

▶機械設計図面の見方・読み方研修

▶機械設計図面の描き方研修

▶現場管理者の生産管理(トヨタ生産方式)研修 ▶知的財産担当者養成講座



問合せ先

(公財)名古屋産業振興公社 ものづくり人材育成課

TEL:(052)654-1653

MAIL:kenshu@nipc.or.jp

問合せ先: (公財)名古屋産業振興公社 ものづくり人材育成課 ☎ (052)654-1653 ✉ kenshu@nipc.or.jp